

平成30年度埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会
議 事 概 要

1 日 時 平成31年3月6日（水） 13：30～14：42

2 場 所 坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校 講堂

3 出席者

【委員】別添委員名簿のとおり

【事務局】保健医療政策課、医療整備課

川越市保健所、東松山保健所、坂戸保健所

4 議 事

- (1) 川越比企保健医療圏医療機能分化・連携推進部会における議事の概要について
- (2) 今後の病院整備計画について
- (3) 新型インフルエンザ等対策について
- (4) その他

5 議事内容

- (1) 川越比企保健医療圏医療機能分化・連携推進部会における議事の概要について

資料1-1及び1-2により事務局（坂戸保健所）から説明を行った。

【主な質疑・意見】

（委員）

資料1-1の6ページの「(2) その他」のところで、委員から「再募集がいずれあるのか」との質疑があったとあるが、その答えは出ているのか。

（事務局）

継続協議が必要な計画があるので、今のところ時期を明示できる段階ではない。

- (2) 今後の病院整備計画について

資料2（P.1～7）により事務局（医療整備課）から説明を行った。

【主な質疑・意見】

（委員）

資料2の2ページの「病床整備の今後の流れ」に関して、これ（説明のあった結果）は埼玉県医療審議会で決定されたということと思うが、議事

録は公開されているのか。

(事務局)

2月12日開催の医療審議会は公開でやった。資料も議事録も今後、公開する。

(委員)

そこでいかなる議論が交わされたのか。

(事務局)

医療審議会では、評価Cの計画(協議から除外する計画)について、どのように伝えるのかといった議論があり、それに対して、(県が)地域医療構想調整会議(以下「調整会議」という。)の場で各委員に理由等を説明するという回答があった。

(委員)

我々委員は会議で意見を述べ、会議で述べられない意見に関しては文書で提出した。それを合わせて、どこでどう決めたかというプロセスだけは、はっきりしておかないといけないのではないか。

(事務局)

今回のA、B、Cの区分は、先般、調整会議で全委員から出してもらった意見を総合的に判断して、県として議論したものである。それは、出席した委員にとっては納得のいく結論と思う。委員からの意見をベースに判断しているので、全然違うといった結論にはならないと我々は思っている。

この結果は、調整会議の議論や他の圏域での議論も踏まえて我々が判断したことなので、全て詳らかにできるわけではないが、そのベースになったのは、調整会議で委員から出された意見であり、会議の公開により透明性を高くしてやっている。

続いて、「整備を進める計画」として承認された病院整備計画について、資料2(P.9~18)により計画を提出した次の3医療機関から説明があった。

- ①丸木記念福祉メディカルセンター
- ②笠幡病院
- ③愛和病院

【主な質疑・意見】特になかった。

(3) 新型インフルエンザ等対策について

資料3-1及び3-2により事務局(坂戸保健所)から説明を行った。

【主な質疑・意見】特になかった。

(4) その他

議長から全体を通じての質疑・意見を求めた。

【主な質疑・意見】

(委員)

病床整備と言っても働き方改革や医師の偏在とかを考えると、既存の病床ですら結構危ないのではないかと思っている。働き方改革で（勤務医の時間外労働を年）960時間以下にするとすると、私どもの病院から他の医療機関に当直の医師を出せなくなる。その結果、病床整備の議論の前に、現在のこの川越比企圏域において医療そのものが維持できなくなるのではないかという危機感すら感じている。

国レベルで（色々な政策や制度を）バラバラにやっているように、県でも医師確保は医療人材課、病床整備は医療整備課と、縦割りになっていて横の繋がりが無い。埼玉県としてうまく連携をとって、もっと何か独自のいいものを作ってほしい。ベッドが足りないから増やせばいいというのではなく、本当にどうしたらやっていけるのか考えてほしい。

県に責任を押し付けるつもりはなく、我々全員でその辺のことを考えていかないといけないと感じている。

(事務局)

そういう問題意識を我々も持って、縦割りでなく、一緒になってやっている。医療に従事されている方から色々な意見を聞いて、色々な課題を皆で話し合っ、解決策を見出していく。そのために調整会議があるので、その会議の場に色々な意見を持って来てもらって、その中で、我々が出来ること、皆さんが主体的に取り組んでもらうこと、そういった整理をしながら、そこで何が出来るのか、どういったことが必要なのかを協議していく。そのために、色々なアイデアを調整会議に持ち寄ってほしい。

以上

埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会 委員名簿(出欠席)

平成31年3月6日現在

	氏名	役職名	備考
1	丸山 元孝	坂戸鶴ヶ島医師会長	
2	藤田 龍一	川越市医師会長	
3	須田 清美	比企医師会長	
4	小川 俊夫	川越市歯科医師会長	
5	安田 寛仁	入間郡市歯科医師会副会長	
6	長嶺 芳昭	比企郡市歯科医師会長	
7	天野 勉	川越市薬剤師会長	
8	平塚 大	坂戸鶴ヶ島市薬剤師会長	
9	井上 辰憲	東松山薬剤師会長	
10	堤 晴彦	埼玉医科大学総合医療センター病院長	
11	織田 弘美	埼玉医科大学病院病院長	
12	森本 義博	小川赤十字病院院長 (代理:事務部長 石田 恵一)	代理出席
13	野崎 達夫	東松山医師会病院代表理事	
14	齊藤 正身	医療法人真正会理事長	
15	篠原 千代三	全国健康保険協会埼玉支部保健事業推進役	
16	原 陽子	東松山市立市民病院看護部長	
17	田中 久子	女子栄養大学教授	
18	野口 丸美	鳩山町食生活改善推進員協議会会長	欠席
19	作山 すみ子	吉見町母子愛育会会長	
20	高野 慎太郎	公募委員	
21	野口 昭彦	川越市保健医療部長	欠席
22	細野 英也	坂戸市市民健康部長	欠席
23	有 隅 栄	鶴ヶ島市健康福祉部参事	欠席
24	山田 昭彦	東松山市健康福祉部長	欠席
25	奥泉 隆雄	越生町健康福祉課長	欠席
26	小貝 和己	埼玉県西部福祉事務所長	
27	丸山 浩	川越市保健所長	欠席
28	遠藤 浩正	埼玉県東松山保健所長	
29	田邊 博義	埼玉県坂戸保健所長	